

都市再生整備計画 事後評価シート
天童古城地区

平成25年 1月

山形県天童市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県		市町村名	天童市		地区名	天童古城			面積	89ha	
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	920百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	道路事業(市道五日町中央線、市道五日町仲町線)、公園(天童公園)、地域生活基盤施設(広場、情報板)、高質空間形成施設(交流散策の道、天童古城西照明施設、天童古城西まちかど照明、天童古城西沿道環境施設)								
			提案事業	地域創造支援事業(「いちばん星の里」整備事業、舞鶴山周辺ガイドマップ作成事業)、まちづくり活動推進事業								
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	-			-			-		
			提案事業	・地域創造支援事業(「いちばん星の里」整備事業) ・地域創造支援事業(舞鶴山周辺ガイドマップ作成事業) ・まちづくり活動推進事業(住民組織の育成)			・関係機関との調整難航による事業の削除 ・2期事業実施による事業の削除 ・単独費対応による事業の削除			指標2「観光入り込み客数」、指標3「市民の舞鶴山の年間利用回数」に影響するが、指標及び数値目標は据え置く		
新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道郭南南小畑線)、高質空間形成施設(天童古城西松並木整備(クロマツ・木製ツリーサークル))、			安全・安心な生活環境整備と良好な景観形成を図る。			影響なし			
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析事業)			事業効果についての分析・検証を行う			影響なし			
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
		変更	-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	まちなみ協定整合率	%	22	H18	55	H24	42	△	あり なし ●	関連事業である山形広域都市計画道路事業の進捗状況が影響し目標達成はならなかった。しかしながらまちなみの景観は徐々に整ってきており、今後は歴史的で良好な景観が形成されることが期待される。	平成25年4月
	指標2	観光入り込み客数	人/年	393,000	H18	417,000	H24	395,474	△	あり なし ●	目標値には届かなかったが、従前値を上回る結果となり、ある程度の効果発現が確認できた。観光施設へのアクセス道路の整備や案内板の設置など観光客を誘導する取組が増加に繋がったと考えられる。 東日本大震災の発生など外的要因も目標達成に影響を与えた。	平成26年4月
指標3	市民の舞鶴山の年間利用回数	回/年	4	H18	6	H24	6	○	あり なし	天童市のシンボルである舞鶴山(天童公園)をリニューアルしたことで、市民の憩いの場として、またイベント開催時の拠点として吸引力が増し市民の利用回数の増加に繋がった。	平成26年9月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1		天童公園桜まつり人間将棋観光客数	人/年	20,000	H20			40,000			桜まつりは、天童市民だけでなく他の地域からも多くの人々が訪れるイベントであり、多様な地域間交流の活性化や他地域等へのアピール効果を表すものである。	平成25年4月
その他の数値指標2		パーペキュー広場の年間利用者数	人/年	1,120	H22			1,216			リニューアルしたパーペキュー広場の利用者が増加しており、天童公園の吸引力の高まりや地域における交流人口の増加に繋がっている。	平成25年4月
4)定性的な効果発現状況	・市民アンケートでは、今後の天童市のまちづくりに期待する意見が多く寄せられ、天童市民のまちづくりに対する意識の高まりが感じられた。											
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		市民懇談会の実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					今後も継続した取り組みを行い、市民との意見交換を積極的に行い、地域一体となったまちづくりを行う。	
	持続的なまちづくり体制の構築		天童古城西まちづくり委員会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					地域住民が主体となって継続的なまちづくり活動が行われるよう、市は側面支援を行う。	

様式2-2 地区の概要

天童古城地区(山形県天童市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: まちの資源を生かした多様な交流の創出と、人・まち・自然とのふれあいを肌で実感できるまちづくり ■「歴史文化ゾーン」と「芸術文化ゾーン」の都市機能及び環境の向上を図るとともに、その吸引力を高める。 ■地区の歴史的環境を活かし発展させることにより、安全で快適かつ風格のある景観を形成する。 ■「歴史文化ゾーン」「芸術文化ゾーン」と「地区の歴史的環境」が一体となって、地区のイメージを強化・向上するとともに、「天童の心」としての情報発信を図る。		まちなみ協定整合率 単位: %	22	H18	55	H24	42	H24	
		観光入り込み客数 単位: 人/年	393,000	H18	417,000	H24	395,474	H24	
		市民の舞鶴山の年間利用回数 単位: 回/年	4	H18	6	H24	6	H24	



まちの課題の変化

- ・天童市のシンボルである舞鶴山をリニューアル整備したことで、地域の歴史的文化的資源を活用し、拠点となる環境整備を行うことができた。しかしながら周辺地域との相互連携については、まだ十分とはいえず、今後はハード整備だけでなく、ソフト事業との連携を強化することも重要である。
- ・歴史的資源である舞鶴山(天童公園)と旧羽州街道を連携して整備を行ったことで、「地区の歴史的環境」が向上し「天童の心」としてのアピール性が高まった。今後は、歴史的背景や地域資源をより多くの人に知ってもらい、何度でも訪れてもらえるような仕掛け作りや歴史的文化的施設等との連携が必要である。
- ・関連事業である山形広域都市計画道路事業と連携や、まちづくり協定など活用することで、地区住民と連携した歴史的文化的街並みの景観が整ってきた。関連する街路整備事業が長期間に渡るため、地区住民のモチベーションを下げることなく、継続して良好な歴史的環境形成を進めていくことが重要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・天童公園の資源を活用し、市民が憩いの場、交流拠点として何度でも利用しやすくなる環境整備を継続して行う。
- ・舞鶴山(天童公園)と旧羽州街道沿いの連携を高め、地域としての吸引力の向上や、歴史的文化的資源との更なる連携を図る。
- ・地域が協力し合い、景観や風致の維持・向上を図り、地域としての魅力を高める。ファニチャー、デザイン照明灯等の高質空間形成や地域づくりのためのワークショップ等の開催支援を行う。
- ・市民や来訪者に広く利用してもらうために積極的にアピールを行うと併し、景観や風致維持のための取組みを行う。
- ・歴史の古道ゾーン、羽州街道ゾーン、交流ゾーンの連携を強化するとともに、地域の魅力を積極的にアピールする取組みを行う。
- ・ハード整備だけでなくまちづくり協定や住民活動と連携した取組みを行う。また高まった住民意識の更なる向上を図り形成された景観の維持と地域の魅力の創出に向けた取組みを行う。